

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 くま安心館グループホーム

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名 露口 理江

評価完了日

平成 20 年 3 月 5 日

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年4月21日

【評価実施概要】

事業所番号	3873400216		
法人名	有限会社 たんぽぽ介護サービス		
事業所名	グループホームくま安心館		
所在地	上浮穴郡久万高原町久万2 4 4 番地 (電話) 0892-21-3255		
管理者	露口 理江		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5 - 1 9 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成20年3月5日	評価確定日	平成20年4月21日

【情報提供票より】 (平成20年1月10日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成14年8月16日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	8 人
職員数	8 人	常勤	4人, 非常勤 4人, 常勤換算 7.0人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	10,000~12,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷 金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	200 円	昼食 250 円
	夕食	450 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 1,000 円		
(3)利用者の概要 (平成20年1月10日現在)			
利用者人数	8 名	男性 2 名	女性 6 名
要介護1	2 名	要介護2	3 名
要介護3	3 名	要介護4	0 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 81 歳	最低 70 歳	最高 90 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり (なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり (なし)	短期利用共同生活介護		
加算 あり (なし)	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

「利用者第一のサービス」「質の高い介護」という理念を基に、職員は、日々ケアを振り返りながら取り組んでおられる。
 遠慮がちな方もおられるが、職員は、話しやすいような雰囲気作りに努めておられ、ご本人から食べたい物の希望等が出されるようになったような事例もある。又、利用者の言動等を記録し、職員で話し合いながら個々の思いや意向の把握に努めておられる。
 新聞の広告を見ながら買い物に行く計画を立てたり、食べたいものを相談しながら食事の準備をされている。
 居室には、利用者手作りのお花や写真が飾られ、トースターや小さな冷蔵庫を持ち込まれている方もおられた。

【質向上への取組状況】

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
・前回の評価結果を受け、近隣住民の協力を得て防災訓練が行われた。又、月1回、夜間に職員会議を開催されている。
今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
・自己評価をすべての職員で取り組まれた。
運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
・会議時、ご家族から日々の暮らしの様子を詳しく知りたいという要望を受けて、8月から利用者個別にお便りを発行されている。又、会議時、話し合いがなされ、地元の方々の協力も得て、避難訓練を実施された。
家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
・個別の便りには、ご本人の暮らしの様子や往診の結果、金銭の出納記録の他、行事時の様子を写真とともに伝えておられる。
日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
・散歩や買い物時に地域の方と挨拶を交わされ、お話されたり、町内の掃除等にも参加されている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 古い民家を利用しており、なるべく手を加えず家庭的な雰囲気の中で過ごしていただいている。		
			(外部評価) 法人理念の利用者主体のケアを実践することを目指し、日々取り組んでおられる。		この機会を、地域密着型サービスとして、貴事業所がどのようなことを目指していくのかということについて、話し合う機会とされてはどうだろうか。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 玄関の見やすい場所に提示し、ミーティング等で話し合い共有できるよう勤めている。		
			(外部評価) 「利用者第一のサービス」「質の高い介護」という理念を基に、職員は、日々ケアを振り返りながら取り組んでおられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 運営推進委員会などを通じて地域の方、家族の方に理解してもらっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		(自己評価) 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	道づくり、組よりなど町内会の行事に参加し地域の方との交流に勤めている。		
5	3	(自己評価) 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている (外部評価) 散歩や買い物時に地域の方と挨拶を交わされ、お話されたり、町内の掃除等にも参加されている。	敬老会、運動会などの行事に参加し、地元の方との交流がもてるように努めている。		
6		(自己評価) 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地元中学校の職場体験の受け入れを行い、高齢者介護の後継者育成に取り組んでいる。		平成16年以降中学生より希望がない為、受けいれできていない。今後こちらから働きかけていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	(自己評価) 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる (外部評価) 自己評価をすべての職員で取り組まれた。前回の評価結果を受け、近隣住民の協力を得て防災訓練が行われた。又、月1回、夜間に職員会議を開催されている。	評価後ミーティングを実施し、改善点などを話し合い改善に向けて努力している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			定期的に行っており、話し合いで出された意見を参考にサービス向上に取り組んでいる。		お便りの発行
			(外部評価)		
			会議時、ご家族から日々の暮らしの様子を詳しく知りたいという要望を受けて、8月から利用者個別にお便りを発行されている。又、会議時、話し合いがなされ、地元の方々の協力も得て、避難訓練を実施された。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			定期的な地域ケア会議に参加し町や事業所の担当者と意見交換している。		
			(外部評価)		
			月1回、地域包括支援センター主催の地域ケア会議に出席されている。地域の各事業所から報告をされたり、意見交換を行っておられる。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			以前入所中の利用者の方に青年後見人の手続きを行ったことがある。		まだ勉強不足を感じており、学べる機会を見つけていきたい。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			勉強会、研修などに参加しており虐待防止に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 経営者、管理者、支援専門員が同席し説明を行っている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 相談員が定期的に来られており、職員は、利用者より相談があった時は、話す時間を設け今後の運営に反映させている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 定期的に写真を添えてお便りを発行しており、その中に会計報告、往診、受診の結果を報告している。その他必要なときは、電話連絡を行っている。		
			(外部評価) 利用者個別の便りで、ご本人の暮らしの様子や往診の結果、金銭の出納記録の他、行事時の様子を写真とともに伝えておられる。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進委員会に参加していただき意見をお聞きしている。また、来館されたおりにお話をさせていただいている。		
			(外部評価) ご家族の訪問時、ご本人の日々の様子や暮らしぶり等を伝え、意見をいただけるよう働きかけておられる。		さらに、ご家族の心情等も踏まえ、ご家族から意見を引き出せるよう、働きかけの工夫を重ねていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月に一回ミーティングを行っている。連絡ノートを作り自由に意見を書くことが出来るようにしている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 週に一回4人勤務を作り、こまやかなケアができるように努めている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 理解できる方には詳しく説明している。他の方には精神的不安を与えないよう職員全員が努めている。 (外部評価) 利用者個々のこれまでのことを知り、新人職員は、先輩職員に付いて利用者への接し方を学んでおられる。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 日程が合う場合はそれぞれの研修に参加している。ケア会議などの勉強会に参加するようにしている。 (外部評価) 職員は、介護福祉士等、介護の資格取得に向けて勉強されている。外部研修受講後は、事業所内で報告をし、全職員に内容を周知されている。		さらに、管理者は、職員研修の充実を図りたいと考えておられる。さらなる職員のスキルアップからも、事業所の質の向上を目指していかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			地域ケア会議に職員が交代で出席し、勉強会や意見の交換を行っている。		他のグループホームとの交流会を行いたい
			(外部評価)		
			地域包括支援センター主催の地域ケア会議では、各事業所のケアマネージャーや職員が集まり、日頃の課題について話し合ったり、テーマを決めて勉強会をされている。		今後、他事業所との交流を、貴事業所のさらなる質の向上につなげていかれることが期待される。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			月に1回のスタッフミーティングを夜間に行いその後、お茶会にし雑談をしている。年に何回か飲み会、カラオケなどを行いストレスを発散している。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			会社より介護等の専門書の貸し出しを行い希望者に随時貸し出しを行っている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			何度かお伺いし接する時間を多く持てるように努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 家族の方と会う時間を多く持つように努めている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人の状態、介護認定の様子、家族の希望などを聞き、適切な支援をするように努めている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 最初の聞き取り、入居されてからの生活、習慣等を見極めてサービスを行うようにしている。 (外部評価) 入居前には、ご本人を訪問し、ご家族ともゆっくりとお話されている。入居間もない頃は、ご本人が他の利用者と関係を築けるよう、職員は、気配りをされている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 会話する時間を多く持つように努め、その会話の中から昔の風習、慣わしなど教えられる事が多い (外部評価) 職員は、利用者から料理やしきたりについて習われたり、過去の戦争体験の話をお聞かせいただくこともある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 来館されたときには、なるべく多く話ができるように努めている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 本人・家族・職員が一緒に話をする時間を作るよう努めている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 現在も同級生や、同職だった方が尋ねてきてくださっている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士がよく話をされており、出来る人が出来ない人を手伝っている様子を見ることが多い。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) ほとんどの方が医療関係に移られることが多いが、退所された後もお見舞いに行ったり訪問したりしている。また、退所された家族さんが、時々尋ねてきてくださっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
<p>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>						
<p>1.一人ひとりの把握</p>						
33	14	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>それぞれの希望を取り入れ、1人1人の生活リズムに合わせ努力をしている。</p>			
			<p>(外部評価)</p>			
<p>遠慮がちな方もおられるが、職員は、話しやすいような雰囲気作りに努めておられ、ご本人から食べたい物の希望等が出されるようになったような事例もある。又、利用者の言動等を記録し、職員で話し合いながら個々の思いや意向の把握に努めておられる。</p>						
34		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>1人ひとり、いままで生活されてきた環境を把握し、これまで通りの暮らしに近いづけるよう努めている。</p>			
35		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>バイタルチェックは毎日行い、生理現象もそれぞれ把握するよう努めている。</p>			
<p>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>						
36	15	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>全員揃っての会議開催が困難なため個別に聞き取りを行い介護計画を作っている。</p>			
			<p>(外部評価)</p>	<p>職員個々の気付き等を聞き取りながら、母体施設のケアマネージャーが介護計画を作成されている。今後、4月より事業所のケアマネージャーが計画を作成することとなっている。</p>		<p>利用者ご本人がより良く暮らし続けるためにも、ご本人にかかわるすべての方達で話し合い、計画を作成していくような取り組みが期待される。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			介護支援専門員が中心となり、職員、家族との話し合いをもちプランを作成している。見直し以前に変化が生じた場合は、モニタリングを行いプランをたてなおしている。		
			(外部評価)		
			介護計画は、6ヶ月ごとに見直しをされている。		さらに、利用者個々の現状に即した介護計画の作成に向けて、日々の記録やアセスメントを十分に活かせるよう、取り組まれることが期待される。
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			介護計画を念頭におき、その成果を日々記録している。		介護記録のマンネリ化が気になる。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			外出や、通院の支援が家族や本人からでており、その都度対応ができています。外泊時の車の手配、家族への連絡とう行っている。		
			(外部評価)		
			職員は、ご家族の事情等に応じて、利用者の病院受診時の同行や理美容院の送り迎え等を行っておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 運営推進会議の後、民生委員や地域の方に利用者の悩み、相談などを聞いてもらっている。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 他の施設への転居希望があり、関係者と連絡をとりスムーズな退所ができた。利用者の転居への不安を職員税印で受け止め気持ちよく支援できた。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議に参加していただいております、その時々助言していただいております。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) かかりつけ医は、利用者の希望に応じて定めている。 (外部評価) 利用者個々のかかりつけ医を受診できるよう支援されている。夜間時、協力医に相談したり、指示を仰ぐことができるような体制となっている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) かかりつけ医に相談し、主治医の判断で他の医療機関を紹介してもらっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 知り合いの看護師に相談し、必要ならば受診するようにしている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 職員が何度か尋ね様子を見るとともに、病院側と話し合いが出来るようお願いしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 重度化、終末期で医療を必要とする状態になったときは当社系列の介護施設や町内の他の介護施設への転居ができてきた。またかかりつけ医の協力を得て入院、転院もスムーズにできている。 (外部評価) 利用者の状態に合わせて、手すりを増やす等されている。		さらに、看取りや重度化した時の事業所の対応等について、利用者やご家族の希望や不安なことについて、早い段階から話し合うような機会作りが期待される。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 事業所の「出来ること、出来ないこと」は症状や個人の価値観によって大きく違ってくるため、事業所としての終末期の支援のありかたは、その都度本人、家族関係機関や職員を検討している。		今後家族や本人と重度化、終末期への対応を事前に個別に話し合っていきたい。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 転居先の専門員と連絡をとり、負担をなくすように努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			トイレ、失禁後の声かけは、さりげなく行うようにしている。また話される内容に対しては、否定はせず、受け入れるように努めている。		
			(外部評価)		
			職員は、利用者一人ひとりの生活歴や性格等を踏まえ、言葉かけや対応をされている。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			さりげなく声かけをし、見守り重視で自分で決断できるように努めている。		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			介護優先に努めている。		
			(外部評価)		
			新聞の広告を見ながら買い物に行く計画を立てたり、食べたいものを相談しながら食事の準備をされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		(自己評価) 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 美容、理容室は希望を優先し、ヘヤーカラーなども希望者には行っている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 希望のメニューも取り入れており、調理の下ごしらえ等積極的にされている。配膳の準備、片付け、食器洗い等自らすすんでして下さる。 (外部評価) 食材の下ごしらえや準備、後片付け等、利用者のできることを行えるよう支援されている。巻きずしやぎょうざ等も皆さんで手作りをされている。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 喫煙は場所を決め行っている。おやつ、飲み物は希望をお聞きしている。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 早めの声かけ、トイレ誘導を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			体調や排便等にも合わせ、本人希望も取り入れバランスよく入浴できるように努めている。		
			(外部評価)		
			ご本人の入浴したい日や時間の希望を聞き取りながら、入浴の支援をされている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			冬はこたつ、夏は和室にゴザを敷き、希望者は自由に使用していただいている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			食事の準備、洗濯物管理、外出、カラオケ等その日の様子を見ながら行うようにしている。		
			(外部評価)		
			庭の花の水やりや食器洗い、金魚のえさやりをされる方もおられる。ご家族の方も一緒にカラオケを楽しまれることもある。		今後、事業所では、近くに畑を借りて野菜を栽培するような計画も考えておられた。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			本人さんが希望される物は、行ける範囲の所であれば一緒にお連れし、自分の目で見て選んでいただくようにしている。外出が困難な場合は、なるべく希望されるものに近い物を購入するように努めている。少ない額ではあるが、財布に入れてもたれている方もある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			散歩、買い物等、また希望がなければ声かけを行い、外に出る機会を作るようにしている。		
			(外部評価)		
			買い物や地域の芸能発表会を見に出かけられたり、ドライブで遠出をされることもある。		「近所の方から椎茸の菌の植え付けに来ませんか。」とお誘いをいただいている。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			外食、温泉、喫茶店などに出掛けている。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			電話は自由に使っていただいている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			家族の方もよく来てくだり、その家族と他の利用者という形でよく話されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 研修などで勉強し、拘束は行っていない。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 鍵は夜間職員が1人になるまでは玄関の鍵はかけないようにしている。居室の施錠は行っていない。 (外部評価) 玄関は、日中、施錠せず、利用者は居間や居室、庭で思い思いに過ごせるようになっている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 利用者の所在は常時確認出来るよう、毎日責任者を決め行っている。居室はカーテン、すりガラスで共有スペースからは見えないよう配慮している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 共有スペースでは、一律で危険物を撤去しているが、居室においては個々の状況により、裁縫道具や湿布などを利用者個人で管理されている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 危険箇所に文字が読めない人の為にイラストを取り入れている。認知所の症状の重い人の居室の暖房機はエアコンを使用している。服薬は1人1人手渡しし、場合によっては、口に入れたり対応をしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 不定期ではあるが、職員全員が消防署職員の指導のもと救命講習を受けている。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 地域の人にも参加してもらい、日中の避難訓練を実施している。 (外部評価) 消防署の協力を得て、町内からも7名の方の参加をいただき、事業所で避難訓練を実施された。地域の方が、緊急時の協力者として申し出てくださった。		今後、夜間を想定した避難訓練を行う予定となっている。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 今後起こり得るリスクを本人や家族と話し合い、喫煙や糖尿食などの理解をいただいて柔軟に対応している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 朝のバイタルチェック、職員間の申し送りを徹底している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬は職員見守りで行い、処方箋には目をとらすようにしている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 食生活に気をつけ、かかりつけ医とも相談して取り組んでいる。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 口腔チェック表を作成し、自分で書ける人には書いていただき、他の方は職員がチェックしている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 腎臓病、糖尿の方など食生活、カロリー、水分摂取には注意している。必要なときは、水分摂取量を記録している。 (外部評価) 食事制限のある利用者には、食器を少し小さ目にする等、集団生活の中でご本人が違和感を感じないように配慮をされている。		食事のカロリー計算をきちんと出来るように栄養士などと相談していきたい。 今後、地域ケア会議の際、事業所の献立について、アドバイスいただける栄養士の方を紹介してもらえよう、相談することを考えておられた。
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 毎日衛生管理の担当を決め、定期的に消毒を行っている。手洗い、口腔ケアに力を入れるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>定期的に消毒をおこない、食材の管理も賞味期限や消費期限を確認して使用している。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>夏場は玄関を開放し出入りしやすいようにしている。冬場は玄関から商店街まで雪かきを行い、出入りしやすい環境を作っている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>安全に過ごせるよう常時証明はつけている。食堂でのテレビの音量が一階居室の方の不快にならぬように注意している。季節に応じて置物、飾り等を交換している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>事業所は、窓が大きく多い造りで、明るく開放的な雰囲気となっている。季節の花やひな人形が飾られてあった。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>廊下のソファ、リビング、和室等を自由に使ってもらっている。今は寒い時期なので、数人でこたつでテレビを見られている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			自分で持ってこられた家具、ぬいぐるみ、小物など居室に自由に置いていただいている。		
			(外部評価)		
			居室には、利用者手作りのお花や写真が飾られていた。又、トースターや小さな冷蔵庫を持ち込まれている方もおられ、利用者個々が居室で思い思いに過ごされている様子がうかがえた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			喫煙所には換気扇を設置し、居室は個人の好みの温度に調節できている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			手すりの設置や、段差の解消に努めている。階段はリハビリに役立っている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			常時、見守り、さりげない声かけを行うようにしている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			庭でバーベキュー、ベランダで花火を見たり、日向ぼっこなどに活用している。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者との会話を持ち、希望や不安、生活習慣を見出すようつとめており、出来る範囲で希望が実現できるよう努めている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	午前中はおやつの後、昼食後、夕食後から就寝までの時間は、毎日ゆくりと過ごしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	食事、入浴の時間はきめず、それぞれの希望に合わせている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	以前の仕事のことなどを思い出し積極的に動かれている。また、家族の方からもそういう話を聞く事がある。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	買い物、美容室、散歩、各催し物などに参加できるようにしている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	月1回の往診・受診を行い、それ以外も体調不良や不安を感じた時は病院受診をするように努めている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	受診希望や、帰宅願望には適切に対処し、ストレスを感じているときには、外食・外出など気分転換に努めている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ①ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	来館される家族の方のなかには、利用者さんより職員と長く話して帰られるかたもあり、信頼関係はできていると思う。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	採れた野菜、果物を持参して立ち寄ってくれたり、お茶を飲み話をされて帰られる方もあります。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② ② ② ② 1 大いに増えている 2 ② ② ② ② 3 あまり増えていない 4 全くいない	民生委員の方などの付き合いが出来るようになってきた。
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) ① ① ① ① ① ① ① ① 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	休みの日にも顔をだしてくれる職員もあり、いい雰囲気働けていると思う。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① ① ① ① ① ① ① ① ① ① ① ① 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	「ここはええとこよ」と利用者同士ではなされており、日常の会話の中にも聞くことができる。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② 1 ほぼ全ての家族等が 2 ② ② ② ② 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	来館された時に話をお伺いしている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

利用者第一のサービスを理念にあげており、その人らしい生活ができる居心地のいい場所作りを心がけている。毎日と一緒に過ごしているなかで、決め付けになっていないか、苦痛を感じていないか、不満を感じていないか、などをいつも考え意識して業務につくよう努力している。また食事はおいしいと定評があり、自信を持って作っています。